

回勅「ラウダート・シ」（「主を賛美せよ」の意）による祈りと行動

回心と変容への指針

カロンデレットの聖ヨゼフ修道会

序文: このプロセスは、教皇フランシスコが気候変動を食い止める方法として『私たちの家』を共有する全ての人々に課せられた回心と生活スタイルの変容の呼びかけを実行するのに役立つようになっていきます。

- ラウダート・シ (LS) は、私達の総会 2013 の呼びかけ『地球全体の共同体の中での交わり』で、私達が現生活様式を徹底的に変えるよう具体化します。
- 教皇フランシスコが提案する変化への回心は、一貫した行動を取るのに時間がかかりますが、変容はプロセスです。
- これらの祈りと考察の経験を通して私達が捜している重要な事実は、被造物の神聖さに生きておられる神の認識を体験し、そしてそれは、相互依存の交わりの中に存在するあらゆる生き物と人々（特に貧しく、最も傷ついている人々）の場を尊敬しなければならないのです。
- これらの経験の目的は、神聖な地球共同体内で私達との関わりの認識行動が変えられ、そして共同の行動へと導かれます。
- 使用目的の提案：各人の毎日の祈り、そしてその後グループによる共同体の行為によってなされます。

回心へと自分自身を開く: 以下のことは共同のプロセスにおいて優先される： 私達は、あなた方にラウダート・シにおいて最も挑発に乗ることがら、回心を要求する声明のいくつかに焦点をあてた個人の考察用紙を使って祈ることをお勧めします。数日間かけて、最も適切に考えられる夫々のステートメントを考察する 5 つの異なった方法があります。

その書式は小冊子『創造物との交わりを深めること』で使用された構成とレクチオ・デヴィーナの実践によって影響されました。以下のことがらが含まれています。

- **注意深く読むこと:** レクチオ・デヴィーナ同様、この章は引用を熟読するよう意図されていて、ことばの注釈と意味、神がどのようにして私達一人ひとりに語りかけているかを捜します。
- **経験を思い起こすこと:** 引用句（認識、特権、豊かさ、顕著な消費、拒絶、変化以前の行動など）に見られる問題に関して個人の経験を自覚することに焦点を当てます。
- **神学的に、霊的に省察すること:** 神聖な地球共同体ヴィジョンとその通路に向かって行動する神学上の提示と霊性の基盤は、創造間の神聖な関係を回復確立したいという願望を呼び起こします。

- 背景にある事実と暗示するものを理解すること：現代に発見されたこと、及び今の現実、貧困、抑圧、不利な立場の人々、地球のダメージ・システムのために声明書を調べます。
- コミットすること：“表面的なエコロジー(自然環境運動)”(LS #59)を超えて、声明に関連した幾つかの特定行動に専念するよう促します。私自身、何に気づかい、何をやるのか関心がありますか。共同の行動として何か提案できますか。

共同のプロセス：個人と共同社会の行動にコミットすること

- 各人の回心シートに記入した後、グループで話し合うこととなります。(この会合は一度でも何度でも)
- グループでの分かち合い：各人は以下のことについて話します。
 - 特別な呼びかけを中心にして、回心/変容について経験していること
 - 最も貧しく最も傷ついたもの(大気、土壌、水、生き物、人々)に及ぼす行動の結果、私はそれに対する気づきと責任にどのように成長するのか。
 - 私が行おうとしているコミットメント
 - 回心するように招かれている地域に対して、私はまだ準備ができていません。私は、更なる回心に向かってあれこれ考えます。
- グループ プロセス
 - 気候変動に影響を及ぼすために、グループは一緒に取るかもしれない行動を検討します。
 - 次の集会の前に共通の行動、具体的に取り組むべき手段、誰を、を決定します。
 - 次の集会予定
- コミットメントとサポートの共通の祈り：以下の要素を取り入れ自分の祈りを作成してください。
 - 個人のコミットメントを知らせる
 - グループのコミットメントを知らせる
 - これらのコミットメントにグループの祝福をします。
 - 呼ばれている地域、開かれた恵みが何であれ、そのために祈り、そして乗り気であることが必要とされます。
 - 一人ひとり及びグループ全体が、今ある場所で回心の祈りと恵みの開放を願ってグループの祝福をします。
 - 祈りの要約：今も続く神の創造の業に協力し、より深い交わり、増大してきた意識、そして地球共同体全ての親愛なる隣人の世話へと向かう祈り。
- 祝賀会：コミットメントだけでなく、グループで分かち合った新しい認識のために、時間を取って祝ってください。

自分自身を回心へと心を開く

秘蹟としての世界に栄光を帰すことによって

9a キリスト者として私達は、“グローバル規模で世界を交わりの秘蹟として、また神と私達の隣人を共有する方法として世界を受容することに呼ばれています。それは、私達の星の最後の微塵の状態の中で、神の創造の業、縫い目のない衣服の細部で神と人が出会える私達の謙虚な確信です。”注①

省察1：注意深く読む

ここでは、フランシスコが富裕なキリスト者を想像して話しかけます。世界の秘蹟はどうですか。“交わりの秘蹟”と言うのは、どういう積もりで言っているのですか。縫い目のない衣服というフレーズの意味は何ですか。私の周りで神と人が出会っているのが見えますか。

省察2：経験を思い出す

私は“主体の交わり”としてそれぞれの生きものが相互関係にある世界を経験しますか。いつ、私は人と創造物の存在の交わりを私の生活状況の中で経験しましたか。問題に満ちた世界を神聖な場として受け入れることは困難ですか。私達の星の埃の中にあっても、神との出会いを経験しますか。

省察3：神学的に、霊的に考察する

ユーカリストの秘蹟において、神はご自分を与え私達を養い神との関わり及び相互間の関わりを強めてくださいます。神は創造されたあらゆる存在に同じ理由で同じ恵みを注ぎ、養い、神との交わりと相互間の交わりを強めます。神は私達が私達の共通の家で尊敬と愛と神聖なマナーで賜物を共有し、相互に生存し、お互いになるということを学ぶために創造を続けられます。

省察4：その背景を理解する

現実に描かれたグローバルというものは私達の間で共有する交わりから遥かに遠いです。むしろ、ある人々は必要以上に多く所有し、ある人々は必要とされるものより少なく所有しています。自動車のための化石燃料の生産が貧しい人々の流れや近所の人々の暮らしを困難にすることは交わりではありません。そして油電車が通り抜ける町を危険にさらします。貧しい人々は危険を分かち、より豊かな人々は安いガソリンを得ます。

省察5：改変を行なう決意

私達が使用する全ては創造において他者のためのエネルギーの賜物です。もし私が便利さと特権と権利を何らかの方法で共有するならば、彼らの夢はすべて、実現される機会になるでしょう。今日、私は全てが賜物であって、全ての被造物との交わりを深めるのだということを自覚します。

注 ① ペートゥリアーク ヴァルソオメオ著『グローバル責任と生態学的保全』結びのことばより。於イスタンブール、ハルキ島サミット1(2012年6月20日)

自分自身を回心へと心を開く

イエス・キリストとの出会いを通して

217. エコロジー危機は、内なる回心の深みへ入るよう呼び付けます。イエス・キリストとの出会いは、“エコロジー回心”によって世界とその周りの関わりが明白になります。それは選択されるものでなく、キリスト者の第二の側面でもありません。

省察1：注意深く読む

“内なる回心の深み”と読んだ時、私の内にどんな感情や思いが起こりましたか。私を変化させるイエス・キリストに出会いましたか。その変化は世界との関わりにおいて明白ですか。もし“エコロジー回心”が選択されるものでなければ、その不愉快な経験を快く受けるように祈りますか。

省察2：経験を思い出す

地球危機に関連する行動を私自身経験しますか。私はどんな場合、エコロジー回心に対する抵抗を内的に経験しますか。どんな形をとりますか。私にとって“内的回心の深み”に入ることはどのように見えますか。私が抵抗を受け重荷を感じ祈る時、変化を感じるのはどんな場合ですか。私の“イエス・キリストとの出会い”は健全な地球のための行動という結果になりますか。

省察3：神学的に、霊的に考察する

イエスが生きていた時代に私達が生きていれば、私達は“預言的チャレンジ、世話の促進、自然体世界の保護と癒し人となるでしょう。たとえこれらが効力のある経済と政治的利益に反するとしてもそれらはします。(エリザベス ジョンソン CSJ)

省察4：その背景を理解する

バーナード ロネガンによると、回心というのはより大きな愛、神聖さの理解に関して惹かれるようなものです。もし私達が全ての被造物に神の業を見るなら、私達は自分自身の行動を変える動機づけを発見します。教皇フランシスコは、“ユーカリストは環境を考慮する光と動機づけの源であり、私達に全ての被造物の世話役であるように導きます。”と述べています。(ラウダート・シ 236) ユーカリストは受肉、自己奉獻、感謝の気持ちのようなものです。イエスの“宇宙愛の行為”は、全被造物を保護するよう私達を動機づけます。

省察5：改変を行なう決意

(個人と共同の) 霊性は、今日も生きておられるイエス・キリストと私達を結びつけます。私達がどう生きて働くか、これは証拠があってより明白です。生活様式を簡素化することによってですか。どのようにしてこの決定/行動が地球共同体に影響を与えるのかと聞くことによってですか。修道会はどの地域でイエスの霊性でもって地球を保全するよう立ち上がることができましたか。私達の共

同の生活様式を変えますか。私達の共同体は、どのように健全な地球と人々に関して預言的に生きなければなりませんか。

自分自身を回心へと心を開く

私達の隣人の苦しみを通して

19. 私達のゴールは情報を集めたり好奇心を満足させたりするのではなくかえって痛感するようになることです。世界で起こっている苦しみを自分自身の個人の苦しみへ転回させ、そしてそのようにして私達一人ひとりがあえて何をするかに気づくまでです。

省察1：注意深く読む

教皇フランシスコは全人類共同体に関する懸念の動機について、経験を少し述べています。私は教皇さまの目標と思いやりの態度を共有しますか。どんなことばやイメージが私を駆り立てますか。どれを考慮しますか。チャレンジさせますか。

省察2：経験を思い出す

この声明書に私自身どこにいるか分かりますか。何らかの情報を持っているようだが、その場所、あるいはこのような状況で苦しんでいるかも知れない人々に対する影響を考えてみませんか。私たちの世界でどんな危機を痛感していますか。あるいはその問題で苦しみ、悪いニュースについて読んだり聞いたりするのを避ける傾向があり、“憐れみで疲れ”させられたと感じますか。

省察3：神学的に、霊的に考察する

アブラハム ヘッシュェル師は、神は私達と苦しむと言うことを思い出させます。霊操はあらゆる場面とそれぞれの存在と同一視する体験をさせます。そうする事によって私達はイエス・キリストの憐れみを身につけます：神の心に肖ります。

省察4：その背景を理解する

徹底的な行動に自分自身を動機づけるため私達は感情と霊的エネルギーを引き出し、同様に情報を集め戦略を練らなければなりません。直面する課題は、私達が憐れみの存在で、モラルとして自分自身の最大限の力を生み出す必要があり、私たちの生活様式を個々にそして社会的に変えるためチャレンジしていくことです。文化の圧力は、世界のニーズから遠く離れた私達の“ゲート共同体”の中で安全に穏やかに住めるよう奨励します。しかし私達がしていることに対して境界線のはるかかなたでは、事の重要さの結果が見られます。

省察5：改変を行なう決意

世界情勢に関する痛みを伴うニュースについて、私ができることは何かと気づくまで、心を開く意思がありますか。“ニュースを祈る”ことを学び、聞いたこと全てを心で受け止められますか。他者のためになるかも知れない私の行動の影響は何なのか考え、時にはしようとするのを考察しますか。他者の苦しみを自分のものにするのに、私は今日どのように在りましょうか。私が他のグループと一緒に働き祝う時、私達が彼らのためにできることは何かを発見するまで親愛なる隣人の全てをどのように支えますか。

自分自身を回心へと心を開く

共通の起源と未来の認識によって

202. 当然のことながら多くのものは変わらねばなりません、それ以上に変わる必要があるのは私達人間です。私達は共通の起源、相互的親密な関係を確認し、誰とでも共有できるようになる未来について不足しています。

省察1：注意深く読む

全ての存在の“共通起源”について、私は何を知っていますか。属することは、そこにある権利の全てに適用されます。私はどのようにして、私無しで存在している地球と“相互関係の一員”になりますか。私はどのように各存在を尊敬し、人としてのあるべき場所を見つけますか。私も又変わらなければならないと思えますか。どちらのことばが存在に関わる方法をより考慮させ、その気にさせますか。

省察2：経験を思い出す

自然界における私の経験は何でしたか。私は繋がれていると感じますか、それとも、多少は引き離されていると感じますか。いつ、私は地球共同体内の他の存在とそのように感じましたか。私達は皆共通の未来を持つ一つの共同体であると、これまでに感じましたか。自然界との繋がる経験の広がり、精神を覚え、味わい、共有してください。不思議に思う事や畏敬の念を案内人にさせましょう。

省察3：神学的に、霊的に考察する

CSJ固有な用語、“親愛なる隣人”は、存在するもの全てを含みます。それは生存する地球と私達がどう“相互に存在しているかを熟考するよう勧めます。私達の神聖な物語は、私達の中でまた私達を通して創造を継続しておられることで、神のイメージが明らかにされます。私がこの神のビジョンに強く惹かれるなら、私は責任ある創造仲間であることを切望してやみません。私を変えられて世界に影響を及ぼす神のイメージは、他にどんなことが考えられますか。

省察4：その背景を理解する

私達の宇宙論から見ると、人は進化的な物語において遅く存在します。人は既に存在する生きたウェブ（複雑に絡み合った関係）の一部であり、地球共同体の一部です。存在する全てのものは共通の起源から生じました。私達は共通の要素を共有しています。『最初の存在から燃え出してから今までも、今もそしてこれからも全ては関わりあり、これが交わりなのです。』（2013 総会序文）私達の役割は神が創造を続けることによる交わりを強化することです。

省察5：改変を行う決意

私はどのように自分自身を地球共同体の一員と考えていますか。私のどんな明確

な変化が、私達の共通の家のために話し関連付けて行動するよう私を近づけますか。人としての私達は地球共同体の一部分であるこの認識に関して、ローカルユニットはどのように連帯し行動しますか。あらゆる存在との必要な関係をどのように表しますか。(イメージ、祈り、儀式など)、

自分自身を回心へと心を開く

化石燃料の使用を減らすことによって

人類はこの温暖化（気候的システム）を悪化させる原因対策ために生活様式や生産、消費を変える必要性、あるいは少なくともそのことを認識するよう呼びかけられています。科学的研究は、ここ数十年の地球温暖化原因の大部分は、人間の行為の結果として大量に排出された温室効果ガス（二酸化炭素、メタン、酸化窒素、その他）だと示しています。問題は化石燃料の集中的な使用に基づく発展モデルによって悪化しています。そしてそれは世界的エネルギーシステムの中心にあります。

省察1：注意深く読む

この引用節を読んで際立って見えるものは私にとって何ですか。世界的な気候変動は、“人間の原因”だと読む時、感情を動かしますか。変化を呼びかけられているので重荷を感じますか。

省察2：経験を思い出す

先進国での生活は、化石燃料の使用に基づきます。自動車、飛行機、バス、車で移動する時、工場生産された製品を買う時、エアコンや熱をオンにする時、汚染の一因となっていることに気づいていますか。この問題を削減するために、どんな変化を提案することができましたか。

省察3：神学的に、霊的に考察する

創造の贈り物は、私達のニーズを支持するための十分なエネルギーを含みます。エネルギーだけでなく、暖かい太陽と冷却風力の祝福です。エネルギーは宇宙を一定方向に推進する神のまさしくその命の共有と考えられます。これは、“地球規模で神と私達の隣人と共有する方法、創造のエネルギー交わりの秘蹟”…に私達を参加させます。[パラグラフ 9]

省察4：その背景を理解する

貧しい人々の多くは、温暖化現象の影響を受ける地域に住んでいます。彼らの生活手段は、主に自然のままの蓄えと農業や漁業や森林業などに依存する生態系の仕事で…気候の変化に対して動植物は適応できず、人々の生活にも影響を与えません。子供達と未来の為に自分達は家を出ざるをえません。異常なほど不確実性で影響を及ぼします。不安定な環境が原因になり、貧困から逃げようとしている移住者の悲劇の数が増大しています。[パラグラフ 25]

省察5：改変を行う決意

私の生活様式はどのようにして汚染を削減することができますか。冷暖房ニーズ

のために太陽熱や風力エネルギーを選ぶことができますか。あるいは積極的にエネルギー選択肢のために働いている人々に加担する事ができますか。共同体として一緒にできることは何ですか。

自分自身を回心へと心を開く

その問題に対して些細な行動を取ることによって

私達の世界を保護し改善するあらゆる努力は、“生活様式や生産と消費モデル、そして、今日の社会を統治する力の構造を制定し、” 徹底的な変革を含意します。^②

2

省察1：注意深く読む

この声明文に私はどこにいるのが見えますか。私達の世界を保護し、改善する必要を感じますか。私にとって深みのある変化とはどういうことですか。私の行動とより良い世界に繋がりがあっていると思いますか。

省察2：経験を思い出す

私の生活様式は、多くの特権、交通手段の便利さ、テレビ、電子工学、電気器具、入手可能な健康食品と安全な生活環境を含みます。なぜ私はこれらのいずれかを変えてしまわなければなりませんか。汚染されずに製造された製品を買うこと、正当な取引のように生産者に十分似合った賃金を支払うことを制限しましたか。

省察3：神学的に、霊的に考察する

この一節の背後にある強制的ビジョンは、神の創造の秩序に沿ったあらゆる存在とその場所を私達が尊敬する世界です。交わりと地球共同体の相互依存は、三位一体を反映します。私の生活の決定と行動でこの交わりを考慮することによって、私は私自身神の創造のみわざに提携し、そしてよりよい世界を築き上げることに参加します。

省察4：その背景を理解する

人間のあらゆる行為は、今日の地球共同体その他の全てにとって悪い結果を招くこととなります。汚染する物を生産すると、私達は他の生き物の権利と尊厳を制限し、生き残る必要のあるものを破壊します。

私達は、どのようにして生産の型式を決定する経済力を影響しますか。そしてそれは政治上の民主主義権力よりも支配的です。

省察5：改変を行う決意

チャレンジは、生活様式において徹底的な変革にコミットすることです。正当に取り引きされている生産物をもっと買いますか。あるいは、人間の権利と環境に違反していると知っている大規模な製品をボイコットしますか。どんな根本的な対策を講じますか。私は変化をもたらすために誰と集団的力を得ることができそうですか。

^② 聖ヨハネパウロ2世『100年祭回状』(1991年5月1日) 58:AAS83(1991), p. 863

自分自身を回心へと心を開く

私達の固定した考え方を考えることによって

210. 環境教育は拡大しました。だが一方初めにそれは主に科学的な情報、意識高揚、環境危険防止に集中していました。今では功利主義者の物の見方（利己主義、無制限の発展、競争、消費主義、無秩序市場）に根付いた現代的“神話”の論評を含む傾向があります。

省察1：注意深く読む

この短い文章は現代文化の破壊に対する問題がいくつかあります。私の生き方はどんな面で“功利主義的思考法”ですか。私達の世界の“資源”に制限があると認めますか。これらの信条が地球とそこに存在するものにダメージを及ぼすかも知れないことが見えていますか。

省察2：経験を思い出す

私達の生活は最新式の利器に依存しています。年中豊かな食物があり、蛇口をひねると水が流れ出る、スイッチを入れると光や冷暖房がつく、安価な衣服と家具が手に入ります。私はどのようにこれらのサービスをもたらす人々に敬意を表しますか。どのように個人主義、競争、消費主義の文化に関して対抗していますか。

省察3：神学的に、霊的に考察する

私達は相互に重大な連結の深みの世界に住んでいます。私が手に触れる全ての物は一人間であろうと地球であろうと一寛大さと努力の成果と他の存在の恵みによって私の所に持って来られました。この相互依存のウェブは親密な創造物との交わりの秘蹟です。

省察4：その背景を理解する

教皇フランシスコは、ラウダート・シのこの節で環境危機の原因のいくつかについて注意するように指図します。— つまり“神話”や不合理な信条は、自分自身や他者や世界について保持するようになります。もし個人主義を保持するならば、私達は他者と別で彼らと関係がなく、私達の行動は自分自身以外の誰にも影響を及ぼさないと思います。もし私達が競争的であるならば私達の星の問題の解決を造る相対的な可能性を最も広義に解釈する機会を失います。

省察5：改変を行う決意

どんなものを要求し特権的である“現代の神話”のいくつかを一つひとつ調べてください。これらの神話は私の内にどのように現われていますか。どのようにして、私の個人主義や競争心や消費主義、そして人は無制限に広がるべきではないと話し始めますか。どのようにして、“神と隣人への愛に向かって差別無しに行動する”霊性は、私/私達に反文化的であることをやる気にさせるのですか。

自分自身を回心へと心を開く

消費と食欲と浪費から

9b. ペートウリアーク ヴァルソオメオは、消費を犠牲に、食欲を寛大さに、無駄を共有にと取って代わるよう、そして“与えることを学び、容易に諦めないようにする克己精神を勧めます。それは私が必要としているものから神が必要とする世界へと徐々に移行する愛の行為で、不安感や食欲や衝動から解放します。”注

③

省察1：注意深く読む

この文章の夫々の節を読んで、何が気になりますか。私の生き方で他に何か取り替える必要がありますか。世界が必要とすることを理解するために神は祈りの中で、私に何を語り導きますか。提案された愛だけでなく私が解放されるかもしれない考え方は何ですか。

省察2：経験を思い出す

この文化は、不経済な物をたくさん作ります。： unnecessaryな包装や一回限りの物や使い捨てに生産された試験的なもの。どんな無駄を生活の中で発見しますか。捨てる代わりに共有することについては、何か変えることができましたか。世界の賜物を喜び、そして私の生き方の行為を癒したことで祝福を受けますか。生活様式を変えるような話にいらいらしている私の行為を動機付けることは何なのか、見てそれとわかりますか。もっと何かをすることについてどう思いますか。

省察3：神学的に、霊的に考察する

創造は神の側の完全な寛大な行為です。全ては神の充満から私達に与えられます。しかし、私達は創造主と同じように寛大になることは易しいことではないと経験します。たとえ私が私の未亡人に小銭を与えても、私は充分であることを信じるためには深いレベルでの信頼が必要です。

省察4：その背景を理解する

ペートウリアーク ヴァルソオメオは、心理的、霊的、感情的な癒しを経験できることを思い出させます。“神の世界が必要とするもの”を優先して、個人主義態度と行為を取り替える広がりへの癒しです。もし私達が正しい関係を保持しているなら、創造は私達を養育し癒すだけでなく、霊的自由を貢献します。

省察5：改変を行なう決意

私の生活はどんな風になりますか。私はどのようにして消費を犠牲に、食欲を

寛大に、無駄を共有の精神に入れ替えることができますか。どんな犠牲をしますか。私がしようと思っていることをどう分かち合いますか。共同体や教区や働く場ですとしたら、どんな努力がより多くのことを達成することができると思いますか。

注③ ペートルリアーク ヴァルソオメオ
ノルウェーのウツタイン修道院での講和 (2003年6月23日)

自分自身を回心へと心を開く

グローバルな霊性へ

240. 人はより成長し、ますます成熟し、さらに広がりへ向かい聖別されます。彼/彼女は、神と他者と他の全ての被造物と共に交わりに生きるため、自分自身から出て行き、その関係に入ります。このようにして人は創造された時、刻印された聖三位の力動説を自分達で作ります。全ては相互に連結します。そしてこれは三位一体の神秘から溢れるグローバル連帯の霊性を発展させるよう勧めます。

省察1：注意深く読む

ことばによってなされた連携について考えを書きとめてください。“成長、成熟は、聖別されその関係に入ります。自分自身から出て行くことは相互に連結し、グローバル霊性は発展し、三位一体の神秘から溢れます。”このパラグラフで、特に私を動かすのは何ですか。この一つひとつのことばに私はどのように自分自身を見ますか。

省察2：経験を思い出す

コロラド州に住んでいる現地の男性は、『私はグランド・キャニオンだ』の著者です。いつ私はあらゆるものの一つひとつが私自身であることを経験しますか … 相互に接続しますか … 連携は …。神の三位一体の相関性は、一人ひとりに刻印されています。どのようにこれを経験しますか。私は何であるか、そして、誰と同一物であると認めますか。

省察3：神学的に、霊的に考察する

この声明文は、私達が他者と共に全ての交わりに引き入れられる時、三位一体の中心にその関係を具現することを含意します。2013 総会は、私達に“私達は交わりを保持します。調和と不調和、インスピレーションとフラストレーション、熱意と消耗疲労、快諾と躊躇”を思い出させました。今日私は、より偉大な神聖な宇宙の交わりの中で、どこでその交わりを経験しますか。

省察4：その背景を理解する

全ては物理的に三位一体の力動説と相互に接続します。アメリカで車を運転する事は環境、氷河、海の魚、喘息もちの女の子に影響を及ぼします。私はどのようにそれらの物理的関係の責任を行使しますか。グローバル連帯の霊性はあらゆる被造物が生き生きと繁栄させる方向に関係があります。

省察5：改変を行なう決意

私達はどんなコミットメント（グローバル連帯の行動）で、“あらゆるものは相互に接続される”という事実を生き、より熱心になれますか。個人的には自分自身

の生活様式を変えることですか。正当な取引（労働者の品位と権利に保険をかける）購買ですか。車での移動を控えることですか。変えようとする働きをサポートすることですか。共同体としては化石燃料を止めて、代替りのエネルギーを使うことです。